

1 単元名 司会の力をつけて、みんなで話し合おう（教材「みんなで話し合って」）

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすることを位置付けた。学級全体で司会者や提案者、参加者などの役割を決め、それぞれの意見の共通点や相違点を整理し、考えを反映させながら、学級全体として一つの考えに集約することや、討論を交わして考えを深め合ったり広げたりする活動である。したがって、本単元でねらう「互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと」（A話すこと・聞くことオ）を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

3 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、前学年で、司会の前段階として進行係を設けて互いの話をよく聞き合う、という話し合いの基本的な構えを学習してきている。小グループで話し合うことは好んで行き、「話し合いの進め方」に沿ってうまく意見をまとめることができる児童もいる。しかし、学級全体での話し合いとなると一部の児童の考えに流されたり、意見の相違をまとめることができなかつたりし、特に司会の力に課題がある。また、自分の意見を話すことに抵抗がある児童もおり、話し合いがうまく進まない一因である。

事前調査

(平成*年*月*日 *人)

項目	できる	「話し合いの進め方」を見ながらできる	「話し合いの進め方」を見ればできるが自信がない	できない
グループの話し合いで司会をすることができるか。	*	*	*	*
学級全体の話し合いで司会をすることができるか。	*	*	*	*
司会をするとき んなことが難しい か。（複数回答）	複数の意見をうまくまとめられない… *	司会として何を言えよいかのわからない… *		
	意見が出ないときがある… *	時間が足りなくなる… *		
	大きな声で話すのが苦手… *	その他… *		

(2) 教材観

本教材は、相互の意見を出し合い一つにまとめていく協議を取り扱い、学級全体で話し合いをするという言語活動を通して、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせることに適した内容である。合意形成を図るためには、安易に多数決によって決めるのではなく、意見を交わし合ってよりよい意見にまとめていく司会の力を付けなければならない。本教材には、具体的な場面でどのように進行していけばよいのか、司会としてどのような言葉を使えばよいのか、実際の話合いで使える語彙が示されている。同時に、考えが伝わるように工夫して提案することや進行に沿って考えを進んで発言することについても一体的に捉えることができる教材であると考えられる。

(3) 指導観

司会者には、提案や意見を要約しながら話す力、話し手の意図を考えながら聞く力が求められる。指導に当たっては、第1次で話し合いの目的を明確にし、場面に合わせて発言内容を整理した上で、話し合いを収束させたり展開させたりすることができるようにしていく。第2次では、司会者、提案者、参加者の役割について共通理解を図り、グループでの話し合いを繰り返すことにより、司会の力をつけるとともに、参加者についても進行に沿って話し合う力をつけるための手立てをとりながら単元を構成したい。また、国語科だけでなく、これまで活用してきた「話し合いの進め方」を改善したり、他教科での話し合い活動と関連させたりし、学校生活全体を通して手立てをとることで効果的に力がつくよう工夫していく。さらに、児童が第3次まで継続して興味をもって話したり聞いたりするためには、話題の設定が重要である。学校公開日に行う「1/2成人式」を児童の手で計画する話し合いにおいて、主体的に話し合えるようにする。

4 単元の目標

- 司会の役割を理解して進行したり、進行に沿って話し合ったりしようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うことができる。
(話すこと・聞くことオ)
- 感想や意見を伝えたり共有したりするためには、適切な言葉によって表わすことが大切であることに気付くことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
・話し合うことによって課題を解決したいという意欲をもち役割を分担しながら、提案したり意見を整理したり、自分の考えを発言したりしようとしている。	・司会者や提案者、参加者などの役割に応じ、話し合いの目的や方向性を捉えて、互いの考えの共通点や相違点を整理して進行に沿って話し合っている。	・感想や意見を伝えたり、共有したりするために、適切な言葉で自分の考えを表すことが大切であることに気付いている。

6 指導計画（7時間扱い・・・本時第2時）

次	時	主な学習活動・内容	主な評価
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ふだんの学級活動での話し合いを録画したもの（ビデオ①）と教師が話し合いをしているモデルビデオ（ビデオ②）を視聴して比較する。 ・話し合いの進め方について課題を出し合い、1/2成人式について話し合うための学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分たちの話し合いを振り返り、モデルの話し合いと比較して、よりよい話し合いをするための課題を進んで考えようとしている。（関心・意欲・態度）
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ②を視聴して、どうすれば進行に沿ってうまく話し合いを進めることができるか、司会の役割を中心に考える。 ・話し合いをするときに使う言葉や方法を見つけて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者や参加者の役割や進行に沿った話し合いの進め方について考え、進んでシナリオから見つけたり話し合ったりしている。（話す・聞く能力）
二	1	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者・提案者・参加者の役割を決め、司会マニュアルをつくる。 ・議題「1/2成人式の計画を立てよう」について自分の考えをもったり、話し合いを行うための準備をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者の役割として話し合いの方向性や柱立てを明らかにすることや、進行したり意見を整理したりする言葉があることを理解してマニュアルづくりをしている。（言語についての知識・理解・技能）
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・5～6人のグループで、役割を交替しながら1/2成人式でどんなことを行いたいかにして話し合う。（10分×3回） ・二つのグループがペアになり、交互に話し合いの仕方を見てアドバイスをしあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者や提案者、参加者などの役割を分担しよりよい話し合いができるよう工夫して話し合っている。（話す・聞く能力） ・司会者や提案者、参加者の役割を理解し、よりよい話し合いをするために適切なアドバイスをしている。（話す・聞く能力）
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が司会を経験できるように、役割を交替しながら、前時の話し合いの続きを行う。学級全体での話し合いに向けて、出された意見について、具体的な内容を話し合う。（12分×2回） ・ペアのグループで話し合いの仕方を見てアドバイスしあい、グループでの話し合いを振り返る。 	
三	1	<ul style="list-style-type: none"> ・司会、提案者、参加者の役割を決め、前時に各グループで話し合ったことをもとに、学級全体で1/2成人式の計画について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者や提案者、参加者などの役割を果たしながら、互いの考えの共通点や相違点を整理し、進行に沿って話し合っている。（話す・聞く能力）
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・第6時の話し合いをビデオに録画しておいたもの（ビデオ③）を視聴し、司会を中心にそれぞれの役割について振り返る。 ・話し合いで大切なことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り、話し合いの進め方や参加の仕方について確認し、今後の話し合いに生かそうとしている。（関心・意欲・態度）

7 本時の指導

(1) 目標

- ・司会者、参加者の役割や進行に沿った話し合いの進め方について考え、話し合うときに大切な言葉を見つけてことができる。

(2) 準備・資料

- ・モデルビデオ ・モデルビデオを文章にしたシナリオ ・短冊 ・プロジェクター ・スクリーン
- ・DVD デッキ ・ストップウォッチ ・拡大した学習計画表、シナリオ、教科書の教材文

(3) 展開

☆言語活動を充実させるための手立て

学習活動・内容	指導・支援の手立てと評価 (〇・・・評価)
<p>1 児童の司会を中心に、前時の活動を振り返り、本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>話し合いの課題をかい決するための言葉や方法を見つけよう。</p> </div> <p>2 ビデオを見たり、教材文を読んだりして、学級の話合いの課題を解決する方法を考える。</p> <p>(1) グループごとに話し合う課題を確認する。</p> <p>(2) ビデオを視聴し、課題の解決方法や司会者や参加者が使うとよい言葉を見つけてシナリオに線を引く。</p> <p>(3) グループごとに、学級の課題を解決する言葉や方法について話し合っ短冊に記入し、黒板に貼っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの意見をまとめるときは… 司会者「今出た意見を簡単にまとめます。」 「〇〇と△△という意見が多いようです。では、…」 参加者「◇◇さんに質問します。」 ・話がそれてしまったときは… 司会者「話がそれてきてしまったので戻しませんか。今は～。」 ・意見が出ないときには… 司会者「ほかに意見はありませんか。」 「では、□□という意見についてどうですか。」 参加者 先生たちのように、事前に議題について考えてくると良い。 <p>(4) グループから出た意見について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つけたします。意見をまとめるには、参加者が「～に賛成です。」と言うといいと思います。 ・「となりの人と話し合ってください。」は、グループで話し合ってもいいと思います。 <p>3 本時の学習を振り返り、次時の学習について確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・司会をして困ったとき、今日集めた言葉を使ってみたいです。 ・参加者も意見が出せるように協力するといいです。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・1/2成人式を成功させるために、話し合いを改善していくことを確認し、学習への関心を高めて本時の学習へ入っていけるようにする。 ・前時に出し合った、これまでの話し合いの進め方の課題を確認し、解決方法を、ビデオやシナリオ、教科書の教材文から探すことを知らせる。 ・教師が話し合っているところをビデオに撮っておき、モデルとして視聴したり、文章に起こしてシナリオとしたりし、教科書の教材文とともに、児童に提示する。 ・言葉ではなくても、課題を解決するための手立てなどがあれば余白などにメモをするようにする。 ☆個別に考える時間をとり、自分の考えをもって話し合えるようにする。 ・出た意見は、掲示したり、話し合いのマニュアルとしてまとめたりし、話し合いで活用していくことを知らせる。 ・課題からそれてしまうグループには一緒に確認し、課題に合う言葉や方法を書けるようにする。 ・司会を中心に考えるが、参加者についてもどのようにすれば話し合いがうまく進むか、協力できることを考えるようにする。 ・ビデオ、シナリオや教科書の教材文にない言葉でも、これまでの経験から考えて書いてもよいこととする。 ・解決する方法や言葉が集まったことが視覚的に捉えられるよう、短冊を黒板に掲示していく。 ○司会者や参加者の役割について考え、よりよい話し合いにするために、課題を解決するための言葉や方法を見つけている。(シナリオ・発言) ☆自分の考えをグループ内や学級全体で交流することを通して、理解を深めるようにする。 ・出された意見が、実際の話合いで役立つものとなるよう、学級全体で話し合う。 ・学級の課題が解決できそうか、全体で確認するようにする。 ・次時は、本時に見つけた言葉や方法をまとめ、1/2成人式について話し合う準備をすることを知らせる。